

## トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 令和4年度 森林・林業交流研究発表会 を開催しました。

### 【技術普及課】

11月15日(火)～16日(水)の2日間にわたり、近畿中国森林管理局大会議室において「令和4年度 森林・林業交流研究発表会」を開催しました。今年度の発表会は、昨年度同様に会場での発表とWebによる発表を併用するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般の方の傍聴参加を見送ることとなりましたが、たくさんの方々に発表会をご覧いただけるよう、YouTubeによるライブ配信を行いました。

発表会には、近畿中国森林管理局の職員に加え、高等学校の生徒をはじめとする教育機関、研究機関など7つの団体が参加し、多様かつ新鮮な発表の場となりました。



会場発表の様子(北桑田高校)



検索



YouTube 配信の画像(兵庫県立森林大学校)

本研究発表会は昭和43年から開催が始まり、これまで発表された課題は累積で1千を超え、今回の発表課題についても、低密度植栽・低コスト造林の取組、ICTの技術を活用したスマート林業、環境に配慮した治山構造物の設置など、時宜にかなったテーマが多く、今後の地域の森林・林業の課題に密着した幅広い研究・取組について、全24課題が発表されました。また、特別講演では、「森林資源・林分構造の広域評価」、「スギ精英樹の生存パターンに影響する要因」や「地形情報を用いた人工林の資源量推定」といった林業イノベーションを展開するために求められる研究成果について発表いただきました。

試験研究機関や民間団体等から構成される8人の審査委員による審査の結果、近畿中国森林管理局長賞(3点)には、山口森林管理事務所、当局計画課(共同研究)、兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センターが受賞しました。このほか8つの課題がそれぞれ各賞を受賞しました。

今回発表いただいた内容については、皆様にご活用いただけるよう森林・林業交流研究発表集録として取りまとめるとともに、配信映像とあわせて局ホームページに掲載し、広く情報発信に努めます。

発表内容やプログラムは下記アドレスをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/gijyutukaihatu/20170324.html>



### □研究発表いただいた各機関・団体

- ・教育機関・・・京都府立北桑田高等学校、鳥取県立智頭農林高等学校、兵庫県立山崎高等学校、兵庫県立森林大学校
- ・県(研究所等含む)・・・兵庫県、山口県

- ・(国研) 森林研究・整備機構森林整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所

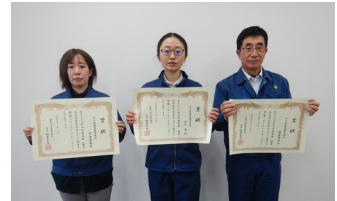
□特別講演いただいた研究機関

- ・(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所関西支所 主任研究員 田中真哉様
- ・(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場 主任研究員 河合慶恵様
- ・岡山県農林水産総合センター森林研究所 専門研究員 牧本卓史様

【令和4年度森林・林業交流研究発表会表彰一覧】

◎近畿中国森林管理局長賞

- ・滑山国有林における2,000本/ha植栽の検証及び造林コストの削減について  
(山口森林管理事務所 平木里南 竹下茜 佐藤博雅)



- ・釜ヶ峰アベマキ巨木林の成立過程、現況及び今後の管理について  
(近畿中国森林管理局計画課 西村貴太)



- ・少花粉スギ採種園におけるカメムシ類の早期防除の効果  
(兵庫県立農林水産技術総合センター森林林業技術センター 中川湧太)



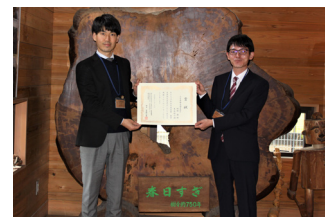
◎(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所関西支所長賞

- ・低コスト造林への挑戦～低密度植栽地の調査結果から最適な再造林に向けて～  
(岡山森林管理署 片岡彰 芦谷初樹 赤瀬誠太郎 根村輝 伊藤由希)



◎(国研) 森林研究・整備機構森林総合研究所林木育種センター関西育種場長賞

- ・1年生コンテナ苗の植栽試験について～中間発表～  
(奈良森林管理事務所 坂部凌 本谷駿介)



◎(一社) 日本森林技術協会理事長賞

- ・大杉谷国有林における地域性苗木植栽による森林植生の回復について  
(三重森林管理署 加藤彩)



## ◎（一財）日本森林林業振興会会長賞

- ・新しい円形囲いワナの捕獲試験について  
(和歌山森林管理署 小谷悠人 畑中宣輝)



## ◎森林・林業交流研究発表会審査委員長賞

- ・新たな造林樹種を選択に係る一考察 ～早生樹「コウヨウザン」の初期成長について～  
(森林技術・支援センター 黒瀬祐二)



- ・森林環境教育用紙芝居等の活用について ～森林からの贈り物～  
(近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センター 矢放七海)



- ・緑をとりもどせ！その5 ～持続可能な森林経営に向けた挑戦～  
(鳥取県立智頭農林高等学校 谷本愛翔 堀村展汰)



- ・コウヨウザンの成長量調査について ～森林整備センター中国四国整備局における  
試行的な取組～

((国研) 森林研究・整備機構森林整備センター中国四国整備局広島水源林整備事務所 山崎浩介 林真梨奈)



また、11月24日(木)、林野庁本庁において、令和4年度国有林野事業業務研究発表会が開催されました。全国の7つの森林管理局から選出された課題の中から各部門別に発表・審査が行われ、当局からは森林技術部門で2つの課題が表彰されました。

当局においても、引き続き試験研究に取り組み、森林・林業に係る技術・優良取組事例等の成果を広く発信し普及に努めていきます。

## ◎林野庁長官賞【最優秀賞】・林業機械化協会会長賞

- ・治山事業におけるICT活用の取組について～遠隔臨場の実施～  
(奈良森林管理事務所(元兵庫森林管理署) 山本康二 近畿中国森林管理局治山課 山本雅志)

## ◎全国木材組合連合会会長賞

- ・鍛冶屋又国有林におけるヒノキ低コスト造林試験～10年生時の広葉樹の除伐が植栽木の成長に及ぼす効果～  
(三重森林管理署 早瀬互 三重県林業研究所 島田博匡)

あとかぼやし  
**「安宅林国有林」の松葉かきを実施しました。**

**【石川森林管理署】**

石川森林管理署では、10月24日(月)に、<sup>あとかぼやし</sup>安宅林国有林(安宅林風景林)のクロマツの海岸林において、安宅小学校と地域住民の方々との協働で松葉かき<sup>\*</sup>を行いました。安宅林国有林では、平成15年に安宅小学校と当署が「遊々の森」の協定を締結し、これまで小学生の森林環境教育の場としてマツの植樹等様々な体験活動や学習活動が行われてきました。

当日は、安宅小学校5年生54名、引率教諭3名、地域住民である安宅住吉会13名及び石川森林管理署9名の合計79名が参加しました。署長の開会挨拶の後、当署職員が海岸林の役割説明及び松葉かき作業の実演を行い、その後、参加者は12班に分かれて、松葉かきの作業を行い、合計約1000kgの松葉を取り除きました。

また、児童は松葉かきの他、森林の生物などにも関心が高く、作業の途中で蜘蛛やきのこを発見しては、あちらこちらで驚きの声が上がっていました。参加した小学生からは「とても楽しかった」「もう少し松葉かき作業をやりたいかった」「海岸林が自分たちにどのような関わりがあるかかった」などの感想を話してくれました。

当署では今後とも、安宅小学校の「遊々の森」を活用した体験活動や保全活動などへ積極的に協力するとともに、近隣住民にもっと海岸林の大切さを知っていただけるような活動を行っていきたくと考えています。

<sup>\*</sup>松葉かきとは、林内に蓄積した松葉を取り除くことにより、マツの生育に適した貧栄養状態の土壌を維持する作業のことです。



活動後の集合写真



松葉を集める様子

**神石高原町立神石高原中学校1年生が植樹体験を行いました。**

**【広島北部森林管理署】**

広島北部森林管理署では、神石高原町立神石高原中学校と神石郡森林組合が、総合的な学習の時間の活動を通じて、森林保全に関わる問題に対して、学びを深め、積極的に取り組む意欲を育てることを目的として行っている森林学習の一環として当署も協力し、11月10日(木)に<sup>やま</sup>ヨナシ山国有林(神石郡神石高原町)において同中学校1年生19名が、ヒノキ苗木の植樹体験を行いました。

最初に当署職員による当該国有林の概要、ヒノキ苗木の説明と植樹の実演を行い、その後、生徒一人一人がクワを持ち、植樹を行いました。

多くの生徒は、初めての植樹体験であり、植樹に支障となる土の中の石や木の根など取り除くこと等に悪戦苦闘しながら植樹しましたが、植樹することの大変さや達成感などを実感する良い機会となりました。

当署では、今後、生徒が植樹したヒノキが立派に成長し、将来、生徒達が同地を訪れた際に成長した木に出会えるように、しっかりと森林管理に努めるとともに、引き続き関係機関と連携・協力を行いながら、林業を担う人材育成や森林学習など森林環境教育を推進し、地域の発展に貢献する取組を進めてまいります。



植樹の説明と実演



植樹する生徒



植樹体験の様子

## 「第16回六条ふれあいまつり」に参加・協力しました。

【奈良森林管理事務所】

10月16日(日)、奈良市内の六条小学校において開催された「第16回六条ふれあいまつり」に当所も参加・協力しました。このイベントは、子どもからお年寄りまでの幅広い地域住民が、催しを通して「交流」や「ふれあい」などを行い、地域コミュニティの活性化を図っていくことを目的として毎年開催されています。

当所は、木の実、木片、丸太輪切り等を使用した木工コーナー、森林・林業について紹介したパネル展示、近畿中国森林管理局の職員が考案した紙芝居2種類の冊子の配布等を行いました。

当日はこの時期にしては汗ばむほどの晴天となり、実行委員会本部発表によると、過去最高のおよそ3,200



木作品を手にした参加者

人の来場者で賑わいました。当所の木工コーナーも11時の開会から14時の閉会まで途切れることなく子ども達や親子連れが訪れ、創意工夫した工作を楽しみました。

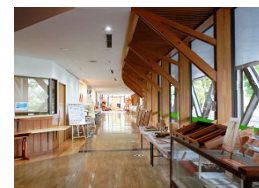
当所では、今後とも、地域社会と連携した取組に積極的に参加・協力して参ります。



木工体験コーナーの様子

## お知らせ

### 森林のギャラリー (局庁舎1階)



#### 【技術普及課】

11月21日(月)～12月23日(金)の展示は、大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター、滋賀県です。

ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



#### 【森林技術・支援センター】

○森林技術・支援センターでは、森林・林業関係者の皆を対象に、当センターが行っている技術開発課題への取り組みと成果を実際にご覧いただくため、「森林・林業技術視察プログラム」を作成しています。

詳しくは下記をご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g\\_center/information/shisatsuprogram2021.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/information/shisatsuprogram2021.html)



#### 【総務課】

○令和4年度 インターンシップ(春期)の受け入れ

近畿中国森林管理局では、国有林野事業及び林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的として、大学(短期大学を含む)及び大学院その他教育研修施設(以下「大学等」という)の学生のうち、学生が所属する大学等から推薦された学生の方を対象にインターンシップの受入を行っています。

詳しくは下記をご覧ください。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/soumu/ki\\_saiyou/202212internship.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/soumu/ki_saiyou/202212internship.html)



## 花草木

### 【イチョウ】

イチョウは（学名 Ginkgo biloba、科・属イチョウ科・イチョウ属）

中国が原産で漢字では「銀杏」「公孫樹」「鴨脚樹」と書き「いちょう」と読みます。

イチョウは約 2 億年前から存在する「生きた化石」と呼ばれる植物であり、太古の昔には世界中で自生していたと考えられていますが、現存するのは中国原産の 1 種類のみです。

イチョウは、裸子植物で落葉性の高木であり、日本では街路樹や公園樹として観賞用に植えられるほか、寺院や神社の境内に多く植えられ、食用、漢方、材用 としても栽培されています。

樹木の名としてはほかにギンキョウ、ギンナン やギンナンノキ と呼ばれたりしますが、ふつう「ギンナン」と呼ぶ場合は種子を指すことが多いです。

街路樹など日本では全国的によく見かける樹木であり、特徴的な広葉を持っているが広葉樹ではなく、裸子植物であり針葉樹です。

イチョウ（銀杏）の花言葉は「長寿」「荘厳」「鎮魂」です。



市内公園の街路樹（イチョウ）

## 我が署のスタッフ 広島北部森林管理署 清水 康平（しみず こうへい）（令和3年度採用）

### 【現在取り組んでいる仕事は？】

総務グループの経理担当として、公共料金等の支払業務や物品管理、旅費の取り纏めなどを行っています。また、昨年度は事務作業で手一杯で現場に行くことがあまりなかったのですが、今年度は仕事の隙間を見て、積極的に現場に出張しております。採用 2 年目でまだわからないことだらけですが、頼りになる上司や先輩方にご指導をいただきながら日々勉強して、仕事に取り組んでいきたいと思っております。

### 【職場の雰囲気は？】

グループ内外関係なく、困ったことやわからないことを相談しやすい職場だと思います。また、グループを問わず様々な業務の現場に行く機会があり、たくさんのお話を学べる素敵な職場だと思います。

### 【林野庁の魅力は？】

過去から現在、現在から未来への世代の移行を実感できるところが魅力です。自分が生まれる以前に植えられた木が現在につながり、現在植えた木が未来の森林につながっていく。この素晴らしさを感じながら、仕事に取り組みたいです。



試験地内の伐倒した木を調査する様子

## 森林事務所紹介

### 下北山森林事務所（奈良森林管理事務所）

首席森林官 川村 直樹（かわむら なおき）

下北山森林事務所は奈良県南東部に位置する下北山村に所在し、下北山村をはじめ、大淀町、上北山村、川上村、高取町、天川村、十津川村の2町5村に所在する13団地約7,260haの国有林を管理しています。

国有林の多くは紀伊山地の脊梁部に位置し、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に指定されている大峯奥駈道の一部が国有林内を通過しており、長い歴史と豊かな自然を併せ持つ地域となっています。

管内の特徴を現すものの一つとして、吉野郡十津川村に所在する白谷山国有林には「森の巨人たち百選」に選ばれている「持経千年桧」があり、大峯奥駈道を利用する登山者を見守るように立っています。

また、吉野郡川上村に所在する北股国有林では、希少種昆虫であるゴイシツバメシジミの食草であるシシンランの育成と成長観察作業を実施しています。

さらに、高市郡高取町に所在する高取山国有林には、日本三大山城のひとつに数えられる高取城跡があり、建物はほとんど残っていませんが、残っている石垣が往時の姿を偲ばせます。

奈良県においても、ニホンジカが多く生息しており人工林、天然林に限らず食



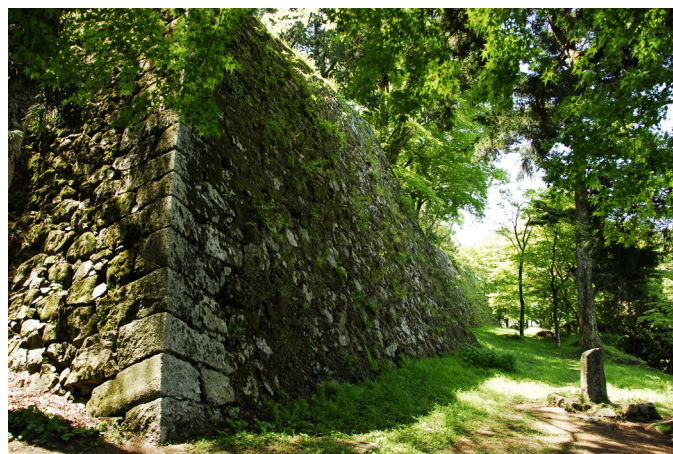
大峯奥駈道



シシンラン



持経千年桧



高取城跡：石垣

害等の影響が多く見られます。当管内の植生調査では多くの樹種が発芽後早い段階で食害を受けている状況で、防鹿柵等のシカ対策は必須となっています。

森林資源の充実という点では、自然の力を借りつつ育成する人側での努力や工夫は不可欠だと感じております。その一助となれば幸いです。

# シリーズ『国有林 最前線！』

## ～民有林支援の積極的な展開～

### 森林技術・支援センター

森林技術・支援センターでは、現地検討会等の開催を通じて国有林が取り組む森林・林業に関する技術開発及びその成果を広く民有林に普及しています。

この度、11月29日（火）、30日（水）の2日間、岡山県新見市内の国有林を中心に民有林関係者等を対象とした現地検討会を開催しましたのでご紹介します。

この現地検討会は、平成25年度から近畿中国森林管理局と国立研究開発法人 森林総合研究所 関西支所との共催により行われ、本年度については伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」の展開に向け「林地保全に配慮した森林施業と再造林の着実な実施」をテーマに開催しました。現地検討会には、府県、市町村の林務担当者や森林組合、事業者など2日間で、延べ170名程度の森林・林業関係者が参加し、関心の高さが伺われました。

1日目は、岡山県新見市内の会場で、国、県、研究機関のそれぞれの立場から「新しい林業」の展開に向け、林地保全に配慮した施業、造林・育林の低コスト化、ドローンの活用、花粉対策等の課題について5つの講演が行われ、その後、参加者と活発な意見交換を行いました。

2日目は、岡山県新見市の<sup>みむろ</sup>三室国有林で、国有林が取り組む一貫作業システムと下刈り回数の削減、小林式誘引捕獲や低コストのシカ防護柵、ノウサギN型捕獲の獣害対策に関し目的や意図等を説明しました。

2日間を通し、参加者からは、「伐採と造林の一貫作業により低コスト化に繋がれば所有者も魅力が高まるので検討していきたい。シカの捕獲方法を実際に見ることができて勉強になった」等のご意見をいただき、盛況な現地検討会となりました。

森林技術・支援センターでは、今後も国有林のフィールドを活用した現地検討会等の開催を通じて、森林・林業に関する技術を普及し、地域の森林・林業の発展に貢献する取組を継続していきます。



1日目の講演の様子



センター職員によるノウサギN型誘引捕獲の説明



センター職員による下刈り回数削減等の説明